

■ ふるさとの「いのち」とふれあう東っ子（笠縫東小学校）

1 【活動の趣旨】

本校は、生活科ならびに総合的な学習の時間において、地域団体「草津塾」や地域の学習ボランティアなどの協力を得ながら、1年生から6年生まで環境学習に取り組んでいる。自然の魅力や歴史・伝統を学ぶことで、地域を見つめ直し、地域に愛着を持つこどもを育てることを目指している。

2 【特徴的な活動内容】

○「アオバナお土産開発プロジェクト」

3年生では、草津市の市花アオバナを栽培し、NPO法人「青花製彩」代表の方からアオバナの歴史や育て方、そしてアオバナ農家の減少による伝統継承の地域課題について学んだ。アオバナの色水を使ったうちわ塗り体験をしたことから、こどもたちは「アオバナの魅力を発信したい」と思いを持ち、地域団体・地域企業の協力を得て、育てたアオバナの花びらを活用したしおりやお守りづくりが実現した。また、花びらを粉末加工した青い粉を小さなボトルに入れたお土産開発に挑戦し、地域の方に配布した。



【3年 うちわ塗り体験】

○「かさひがフォレスト再生プロジェクト」

4年生は、地域の葉山川と森・山のつながり、森林の働きについて学習したことをきっかけに「森を身近に感じたい」「森林に親しめる場所を学校につくりたい」など学校の自然環境をよりよくできないかという問題意識がこどもたちに芽生えた。そこから、『理想的な森林（フォレスト）』について話し合い、いくつかのプロジェクトチームを立ち上げた。滋賀県森林組合をはじめとした地域団体の数多くの支援をいただき、「植樹チーム」など4つのチームは活動の幅を広げ、本校グラウンドにウメ・ライラックなど6つの植樹、看板やベンチづくり、ビオトープ整備、巣箱づくりに取り組んだ。多くの方とつながり、願いを実現することができた経験は、自信や達成感をもつ機会となった。



【4年 ベンチづくり】

3 【実施に当たっての工夫】

年度当初に学習活動の見直し・年間の活動計画設計の時間を確保し、活動に合わせて地域団体「草津塾」と学習内容や体験活動の日程調整を行い、見直しを持って継続的な学びを進めた。

4 【事業の成果】

本年度は学習発表の機会だけでなく、地域の方や各団体への提案・発信する機会を数多く設定することができた。こどもたちの思いが形となって届けられたことは、大きな自信へとつながった。

5 【事業の今後の展望】

地域の方々の高齢化が進み、事業内容の精選や人材確保が急務である。年度当初よりスムーズに地域と協働実践が図れるように、各学年の実践事例のデータ化、地域コーディネーターや学区まちづくり協議会との連携を行っていく。